

# 吹田市本庁舎整備検討報告書

平成30年（2018年）2月

## 1 経過

本庁舎の低層棟は竣工から50年以上が経過し、バリアフリー化に十分対応できていないことや、全体としても狭隘化といった課題などがあり、また、低層棟の床が傾斜しているという問題が発生したことから、早急に低層棟のあり方を見定めるとともに、本庁舎の整備を行う場合に確保すべき床面積の検討と、少なくとも必要となる概算費用を算出するために本庁舎整備検討を行い、検討経過を取りまとめました。

今後、基本構想等を検討する際は、庁舎に必要な機能や利便性等も加味し、また、他の施設との複合化や集約化の観点なども含め、市民や議会の御意見をお聞きしながら検討を進めてまいります。

## 2 本庁舎の現状

施設名		敷地面積	延床面積	竣工年月	築年数	耐震化対応
市役所本庁舎	低層棟	16,742.96 m <sup>2</sup>	6,956.63 m <sup>2</sup>	S 3 9 . 3	53年	耐震化済
	中層棟		8,843.00 m <sup>2</sup>	S 6 3 . 4	29年	新耐震設計施設
	高層棟		8,181.57 m <sup>2</sup>	S 4 7 . 1 2	45年	耐震性能有
	仮設棟		392.59 m <sup>2</sup>	H 1 1 . 9	18年	新耐震設計施設
	車庫・倉庫棟		1,329.29 m <sup>2</sup>	S 6 1 . 1 2	31年	新耐震設計施設
	計		<u>25,703.08 m<sup>2</sup></u>			
	その他		647.31 m <sup>2</sup>			
	職員会館		1,553.31 m <sup>2</sup>	S 4 8 . 5	44年	耐震化未実施
	合計		16,742.96 m <sup>2</sup>	<u>27,903.70 m<sup>2</sup></u>		

## 3 庁舎の必要面積及び建設費用の試算

(1) 庁舎の必要面積の試算値について、先行自治体の手法なども参考に、総務省「地方債同意等基準（平成22年度）」及び国土交通省「新営一般庁舎面積算定基準」にて検討し、約31,000 m<sup>2</sup>を庁舎の必要面積の目安とします。

(2) 先行自治体の建替等の工事単価を参考に、試算しました。

31,000 m<sup>2</sup> × 約50万円/m<sup>2</sup> = 約155億円 ※ 駐車場建設費、設計費、引っ越し費用等は含みません。

## 4 庁舎建設（建替）に係る整備期間

先行自治体を参考に基本構想から建設工事までの期間は約10年かかります。

基本構想	基本計画	基本設計	実施設計	建設工事
2年～3年		3年		3年～4年

